

学校運営協議会

1) 団体の概要・目的について

近年の少子・高齢化社会、情報化社会、国際化社会、環境問題への対応など、社会の急激な変化と共に、教育に求められるニーズが格段に広がってきています。また、人々の価値観の多様化による教育へのニーズは、学校教育のみでは対応することが困難な状況になってきています。そこで学校と地域社会との連携・協力をさらに進め、学校管理運営のあり方について、文部科学大臣より中央教育審議会に諮問がなされ、平成16年3月に新しいタイプの公立学校として学校運営協議会（コミュニティスクール）の設置が閣議決定されました。

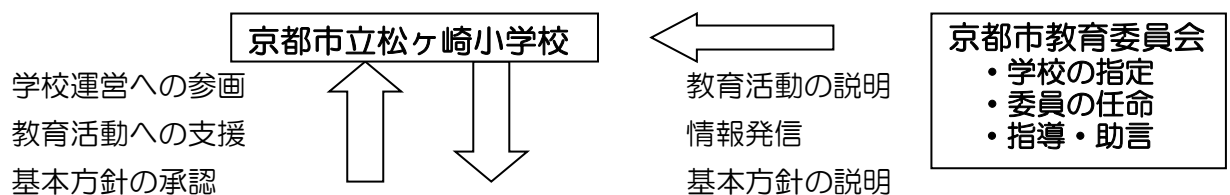
松ヶ崎小学校においては、「地域の子供は、地域が育てる」という基本理念の基に検討がなされ、平成19年3月に運営協議会が設置されました。

基本的には、学校の「応援団」であり「よきご意見番」として活動しています。

なお、学校運営協議会理事は京都市教育委員会より委嘱され、身分は特別職の地方公務員です。

2) 組織・事業について

松ヶ崎小学校・学校運営協議会（松ヶ崎コミュニティスクール）



学校運営協議会（理事会）15名 （保護者・地域の代表・京都工芸繊維大学・学識経験者）				
（理事長）岩崎猛彦、（副理事長）島 浩之、（理事）北野正彦、岩崎恭輔、三宅照男、村上弘子、北川憲一、岩崎達夫、関口力、中島熙泰、岩澤有徑、岩崎勉、大川洋子、佐々木厚司、服部憲児 <順不同>				
企画推進委員会（保護者・地域住民の学校支援ボランティア）				
学 び	子ども安全	読 書	広 報	放課後まなび教室
・教科学習・総合的な学習の時間の学習支援 ・教科外の学習活動支援 ・地域の歴史・伝統文化・産業などの学習 ・小大連携、地域団体との連携など幅広い学習支援が考えられる。	松ヶ崎あんしんネット・ワークの取組推進、年間計画企画・立案 ・子ども見守隊の活動 ・ネットワーク通信など ・「子どもの安全から地域の安全へ」と発展させる取組	読書活動の支援 ・読み聞かせの会 ・図書室の運営の支援など、本校児童の読書活動を充実させるための活動	学校運営協議会の広報活動 ・学校運営協議会だより「松ヶ崎コミュニティ・ニュース」 ・学校評価の取組（学校運営協議会としての学校評価について考え、実施する）	放課後まなび教室の運営 ・放課後まなび教室の実施にかかわる計画の立案と運営支援 ・アドバイザー・サポーターの人材確保に関する支援

3) 企画推進委員会の役割

保護者・地域団体・大学・地域住民の学校理解と教育支援	
学 び 企画推進委員会	<p>子どもの学習に関わる活動。教科学習や総合的な学習の時間、学校行事、小大連携、課外学習、クラブ活動、部活動、英語やIT、昔の遊びなどさまざまな子どもの教育活動の支援を企画・推進。</p> <p>保護者や地域の皆様には、様々な仕事や趣味などの経験から、子どもたちを関わっていただく材料を持っていらっしゃるのだと思います。そうした多様な才能・技能を学校・子どもたちのために生かして、子どもの教育を支援していただくことを求めています。</p>
子ども安全 企画推進委員会	<p>保護者・地域の皆様に「子ども見守隊」の活動を支援していただいています。こうした取組の発展について考えていただき、推進していく委員会です。「子どもの安全から地域の安全へ」がキーワードです。</p> <p>「松ヶ崎あんしんネットワーク」の中心として、子どもの安全と安心・安全のまちづくりを考えます。</p>
読 書 企画推進委員会	<p>子どもの読書活動を支援する委員会です。「読み聞かせ」や本の紹介など様々な活動が考えられます。また、学校の図書室を活用した取組など、集まっていたいただいた委員の皆様でいろいろな意見を出し合い、読書活動を企画・推進していただきます。その他、図書室の環境整備などの活動が考えられます。</p>
広 報 企画推進委員会	<p>学校運営協議会や企画推進委員会の活動のようす、学校での取組などを、保護者・地域の方に広報する活動です。「松ヶ崎コミュニティ・ニュース」の発行を行います。</p> <p>学校評価は、学校運営協議会の機能の一つとして、学校・家庭・地域の取組を評価し、改善のための資料を提供していただくこととなります。具体的な仕事は、コミュニティ・スクールのねらいに沿った評価計画、評価項目の作成、評価の実施、結果の公表などです。</p>
放課後 まなび教室 企画推進委員会	<p>本校の放課まなび教室は、平成20年後期より発足。放課後の子どもたちの安全な場の確保と自学自習の学びの場として運営されています。活動場所は図書室。運営スタッフ（学習アドバイザー・学習サポーター）は、地域・保護者、工織大などの大学生の協力を得て運営しています。平成21年度から、これまでの4年生から6年生までの枠をはずし、全学年で実施。こうした地域ぐるみの取組であることから、平成21年度からは、学校運営協議会の一委員会として位置づけています。</p>

4) 学校運営協議会の活動状況写真

理事会



企画推進オール委員会



学び委員会（地域住民によるゲストティーチャー）

昔の暮らしの学習



農業の体験



伝統文化（妙法送り火）についての学習



消防分団による消防のお話



こども安全委員会

こども見守り隊による活動



読書委員会

読み聞かせの会



放課後学びの教室



学校運営協議会による事業

松ヶ崎歴史遺産シンポジウム（火と水の文化）



松ヶ崎の踊りの文化（講演と講習会）

